

平成30年の救急出場件数等について

1 救急出場件数及び搬送人員

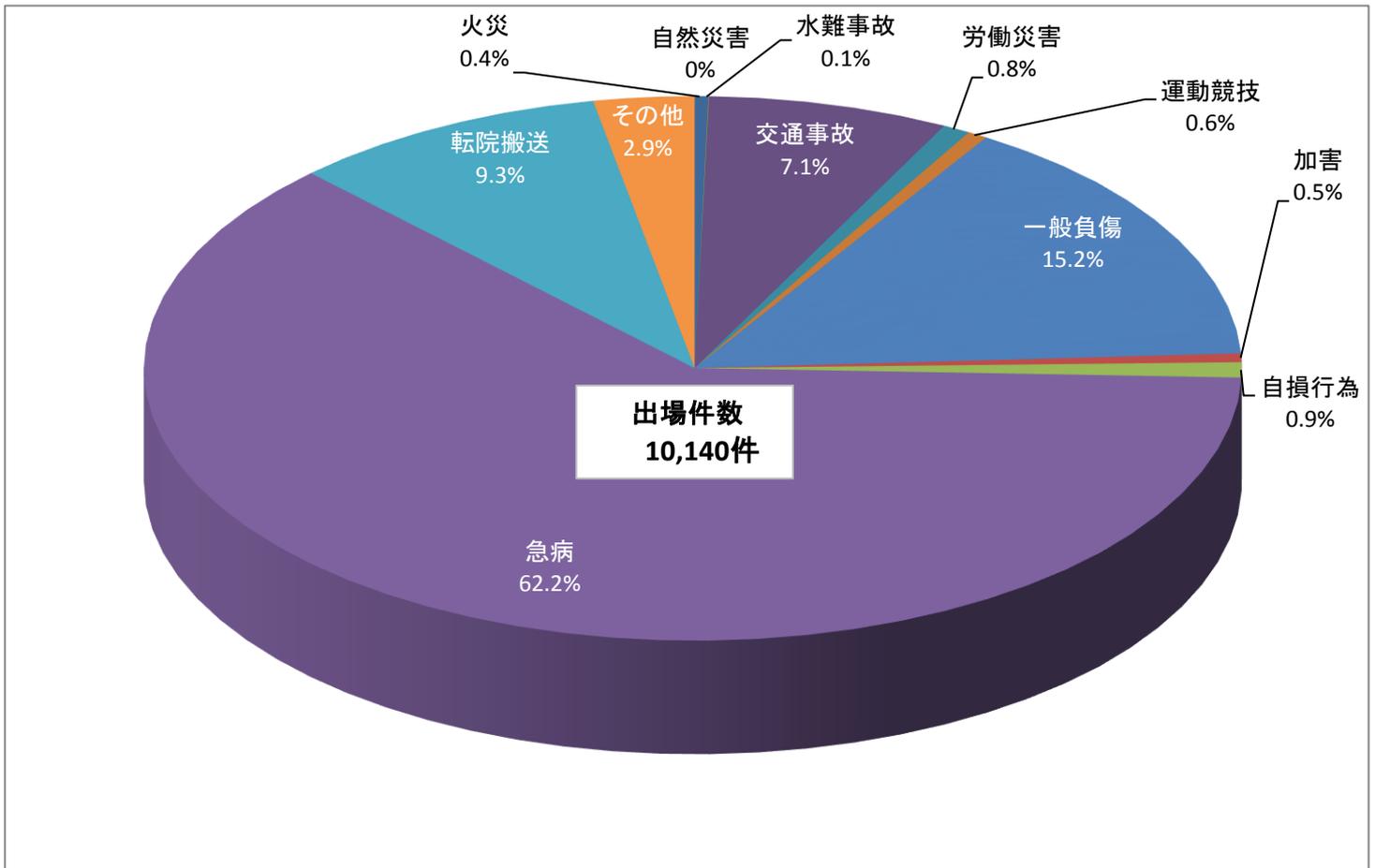
期間	出場件数			搬送人員		
	合計	宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市
平成29年	9,939件	6,951件	2,988件	7,799人	5,398人	2,401人
平成30年	10,140件	7,234件	2,906件	7,998人	5,665人	2,333人
増減	201件	283件	-82件	199人	267人	-68人

- ・救急件数については、宇部市が283件増加、山陽小野田市では82件減少し、全体で201件増加しました。
- ・搬送人員については、宇部市が267人増加、山陽小野田市では68人減少し、全体で199人増加しました。

2 事故種別出場件数・搬送人員

	平成29年			平成30年			増減		
	合計	宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市
合計	9,939件	6,951件	2,988件	10,140件	7,234件	2,906件	201件	283件	-82件
	7,799人	5,398人	2,401人	7,998人	5,665人	2,333人	199人	267人	-68人
火災	49件	35件	14件	40件	31件	9件	-9件	-4件	-5件
	11人	8人	3人	12人	11人	1人	1人	3人	-2人
自然災害	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
水難事故	8件	4件	4件	2件	2件	0件	-6件	-2件	-4件
	4人	2人	2人	1人	1人	0人	-3人	-1人	-2人
交通事故	770件	565件	205件	718件	542件	176件	-52件	-23件	-29件
	571人	407人	164人	522人	385人	137人	-49人	-22人	-27人
労働災害	75件	44件	31件	82件	57件	25件	7件	13件	-6件
	68人	41人	27人	78人	53人	25人	10人	12人	-2人
運動競技	69件	45件	24件	59件	31件	28件	-10件	-14件	4件
	61人	42人	19人	57人	28人	29人	-4人	-14人	10人
一般負傷	1,524件	1,077件	447件	1,546件	1,134件	412件	22件	57件	-35件
	1,211人	852人	359人	1,224人	913人	311人	13人	61人	-48人
加害	38件	33件	5件	53件	40件	13件	15件	7件	8件
	24人	19人	5人	23人	20人	3人	-1人	1人	-2人
自損行為	85件	59件	26件	91件	71件	20件	6件	12件	-6件
	47人	36人	11人	49人	37人	12人	2人	1人	1人
急病	6,123件	4,310件	1,813件	6,303件	4,463件	1,840件	180件	153件	27件
	4,884人	3,420人	1,464人	5,088人	3,578人	1,510人	204人	158人	46人
転院搬送	917件	572件	345件	946件	639件	307件	29件	67件	-38件
	913人	569人	344人	942人	637人	305人	29人	68人	-39人
その他	281件	207件	74件	300件	224件	76件	19件	17件	2件
	5人	2人	3人	2人	2人	0人	-3人	0人	-3人

平成30年の救急出場件数(グラフ)



・事故種別ごとによる出場件数で最も多い「急病」は6,303件で、全体の62.2%を占め、次いで「一般負傷」が1,546件で15.2%、「転院搬送」が946件で9.3%、「交通事故」が718件で7.1%となっており、平成29年と同様の順位となっています。

また、平成29年の出場件数と比較すると、「火災」、「水難事故」、「交通事故」、「運動競技」は減少していますが、それ以外の事故種別については増加しています。

3 今後の課題

・平成30年の救急出場件数は、1万件を上回り、平成29年より201件増加しています。

主な要因としては、急病の増加であり、平成29年比180件増となっており、全国的にも高齢化の進展に伴う救急要請の増加が見込まれています。

今後、増加傾向にある救急出場件数に対して、効率よく救急対応していくために、引き続き、救急車適正利用の普及啓発に取組み、救命率の向上を図ることが今後の課題となります。